

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達サポートMAMEZO (まめぞう)		公表日		令和8年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	環境を構造的に分けており、1階と2階のスペースを運動や机上活動、個別活動へと空間分けしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	職員の急な病欠に対する対応は、同グループ内でヘルプに来てもらう等で、安全に運営できるように努めている。	送迎箇所が多くなることもあったため、送迎をまとめるよう受け入れ学校を調節している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		階段には手すりや、窓には柵を取り付けている。また、階段が急なため、手すりを取り付けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		体調不良や痲痺時など、クールダウンするスペースを設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のミーティングの他、週1回の共有ミーティングで日々の支援についてや業務についてなど、詳しく話し合う場を設けている。	改善に繋がれていない内容もあるが、改善策の共有も必要。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		来年度4月より、同グループ内で月2回の研修を予定しており、支援や環境の質の向上に期待したい。	新入職員の知識不足や、新入職員向けの研修は実際深くは行えておらず、質や内容の改善が必要。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		専門的支援ではフォーマルなアセスメントに加え、インフォーマルなアセスメントも重点的に評価している。	専門的支援職員（作業療法士）内での共有を主に行っているため、多職種の職員にも共有や理解出来るようにする必要がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動をスケジュール化して予定を立てているが、その日のお子様の様子に合わせて集団へ分けたりとしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			職員間で、朝のミーティング時に前日の振り返りをし、お子様の様子を共有しているが、職員間で統一した対応が取れていない時もある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動の参加よりも、自分で何がしたいのかなど遊びに合わせて主体性を伸ばせるよう声掛けしている。	4月より新しい事業所名POLKUとして、自己選択が出来るようなバリエーションを豊富に支援していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		下校時刻の把握不足や、交通事情などで遅れてお迎えに行ったことが時折あるため、対応を職員間で共有し、余裕を持てるように努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		近くの公園に行く際に、地域のお子様たちと一緒に遊ぶこともある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		昨年12月に懇談会を設けた。アンケートをもとに、兄弟児の関わる機会や、お子様と触れ合いながらの機会を今後設けたいと思っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		今年度からSNSを強化しており、日々の様子など詳しく載せるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		防災訓練では、保護者の方々へ疑似避難メールを送ることで、職員の取り組みの練習を行った。	感染マニュアルなどの保護者への周知は取り組めていないため、今後検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			車内でのヒヤリハットが時折あるため、職員の対応の統一や、再発しない為の対策をすぐに整える必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年3月27日

事業所名: 放課後等デイサービス 発達サポート MAMEZO(まめぞう)

対象人数(保護者)22人 回答者数 9人 回収 40.9%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2				狭い空間内でも、構造化しながら快適に過ごせるよう今後も心掛けてまいります。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		3	配置数を把握していません	法令上の配置基準を満たしておりますが、欠員があった場合にはお迎え等保護者やお子さまにも協力をお願いしております。2事業所に分かれることもあり、余裕を持った人員配置を目指してまいります。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					事業所内の構造化に努めております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					事業所内のレイアウトを活動に合わせて適宜調節しながら過ごしています。今後お子さまにとっても過ごしやすい環境づくり、引き続き努めてまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	9				いつも連絡アプリに詳細な様子が 書いてあり、大変助かっています。	ありがとうございます。引き続き、 お子さまに寄り添いながらより いい支援に努めてまいります。
	⑥	事業所が公表している支援 プログラム(※2)は、事業所の 提供する支援内容と合ってい ると思いますか。	8	1			家ではなかなか進まない支 援も、熱心にして下さって います。	ありがとうございます。引き続 き、お子さまに寄り添いなが らよりいい支援に努めてま いります。
	⑦	こどものことを十分に理解 し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析され た上で、放課後等デイサー ビス計画(個別支援計画)(※ 3)が作成されていると思 いますか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑧	放課後等デイサービス計 画には、放課後等デイサー ビスガイドラインの「放課 後等デイサービスの提供す べき支援」の「本人支援」 、「家族支援」、「移行支 援」で示す支援内容からこ どもの支援に必要な項目が 適切に設定され、その上 で、具体的な支援内容が 設定されていると思 いますか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑨	放課後等デイサービス計 画に沿った支援が行われて いると思いますか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑩	事業所の活動プログラム(※ 4)が固定化されないよう 工夫されていると思 いますか。	8	1				お子様の人気の活動は、定 期的に取り入れておりより お子さまの変化や成長に 気づけるようにしています。
	⑪	放課後児童クラブや児童 館との交流や、地域の他 のこどもと活動する機 会がありますか。	1	1	2	5		主催しての交流は取り 組めていないため、地 域のお子様との交流を 増やせる企画考えてま いります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1				送迎の際に保護者様やご家庭でできることなどをお伝えする機会がありました。研修としては行えていませんが、今後より充実したイベント等検討してまいります。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					ありがとうございます。 今後も継続してまいります。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1		2	きょうだい向けのイベントがある事、存じておりません。	ありがとうございます。 4月からPOLKUとして運営を行っていくことで、他事業所や保護者の方々も参加できる会社全体でのイベントなど開催予定です。兄弟イベントなども取り組めるよう努めてまいります。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				2	迅速に対応できるよう、今後の引き続き継続していきます。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					引き続き継続してまいります。
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1			2	活動やイベントなど週に1回以上の公表しています。今後も継続して発信していきます。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				1	引き続き継続していきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1		2		策定していますが、保護者との周知に至らなかった点もありますので、今後周知へと改善に努めていきます。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9					今年度2回の防災練習では、保護者へメール連絡の練習を行いました。ご協力ありがとうございました。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	7	2				今後一層の周知や継続してまいります。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	9					今後も継続して職員一同協力してまいります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					ありがとうございます。今後も引き続き安心して通所いただけるよう努めてまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1				ありがとうございます。引き続き様々な活動に取り組み、楽しんでもらえるよう努めてまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	9					ありがとうございます。引き続き継続してまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達サポートMAMEZO (まめぞう)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療法だけでなく個別療法にも力を入れており、専門職（作業療法士）を中心とした、お子さまに合わせた個別支援をスケジュールを立て定期的に取り組んでいます。	集団の中の苦手さでも、個別に関わることでお子さまのやり易い環境や、どうして苦手なのか等フォーマルな評価やインフォーマルな評価を元に理解を深めています。	お子様との信頼関係を構築しながら、より興味に合わせた療育グッズを充実していきます。
2	運動や感覚統合に力を入れており、発達の土台を意識して日々支援しています。	何気ない遊びや動きの中でも、お子さまの様子を観察しながら足りてない感覚を満たし、身体を動かす活動を積極的に取り組んでいます。	経験値や資格などで職員により支援に差が見られるため、研修などを通して一人一人のスキルアップを強化できるよう努めています。
3	お子様が自己選択できる環境を整えており、主体的に過ごせるよう支援しています。	取り組んでいる活動の参加は強制はせず、お子さまの挑戦したい活動に合わせて支援をしています。	挑戦したいけど不安感のあるお子さまにも、個別で寄り添いながら、挑戦しやすい環境づくりを今後も提供していきます。また、活動のバリエーションを豊富に提供できるよう職員のブラッシュアップに努めています。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な地域の方と活動をする機会をより積極的に図ってまいります。	活動場所が公園の際には、地域のお子様と一緒に遊ぶ機会はありませんでしたが活動場所が限定的ではありませんでした。	地域の社会資源を有効に活用し、地域との交流が促進される活動を調節していきます。また、所属する自立支援協議会の参加など地域に根差した活動の参加を担ってまいります。
2	生活空間をより構造化された空間となるように環境を整えます。	生活空間の中に写真や文字の取入れには、部屋ごとに差がありお子さまの過ごしやすい環境の構造化には課題が多くありました。バリアフリー化は手すりの設置などで取り組んでいます。また、お子さま自身が空間や環境で行動しやすいよう、対策を見直し全体的な周知を図っていきます。	事業所内の活動場所を視覚的に分かるように分けたり、段差にはステップを置くなどで対応箇所を増やしていきます。また、職員やお子さま、保護者様にも周知してもらえるよう、保護者参加型イベントを通して、生活空間を実際に見る機会を増やしていきます。
3	保護者参加型のイベントや兄弟児向けのイベントの開催が少なく、保護者同士の交流の機会が少ないので改善をしていきます。	1年に1回保護者をお招きする懇談会を行ってまいりましたが、ご家族様の参加型のイベントは取り組んでいませんでした。また、参加型になると環境が狭いことや参加されるご家庭が限られており、周知が不足している点も要因だと考えています。	昨年保護者様にとったアンケート結果を参考にしながら、ニーズを把握し内容・実施日時を工夫していきます。保護者様に活動内容を具体的にお知らせし、周知の徹底を図り参加しやすい環境や、交流が持てるように配慮していきます。インスタグラムなどのSNSを通じて、参加の難しい保護者様でも活動のイメージしやすくなるよう取り組んでまいります。